

## ワークショップ開催報告

地域の災害と防災を考える -桜区栄和を例として-

2024年11月30日(土) 13:00-15:30

埼玉大学全学講義棟 1-204、さいたま市桜区栄和

11月30日に埼玉大学社会変革研究センターレジリエント社会研究部門主催、協賛：自然災害研究協議会関東地区部会でワークショップ「地域の災害と防災を考える -桜区栄和を例として-」を開催しました。

本ワークショップは、さいたま市桜区栄和地区を対象として、想定される地震被害や地形・地質と水害の関連性について、地域住民の方と情報共有し、地域防災の向上に貢献することを目指して行いました。栄和地区の自治会関係者、桜区役所の方や桜区防災アドバイザーの方など25名(ほかにスタッフ5名)の方に参加いただきました。

ワークショップの前半では、さいたま市の地震防災マップについてレジリエント社会研究部門の谷山尚准教授が、桜区栄和地区の地形・地質と水害について同研究部門の長田昌彦教授が説明しました。

ワークショップの後半では、参加者全員で、防災マップ・地形マップを手に、地震の際に危険な箇所や細かな地形・地質と水の流れ・水害の可能性などを確認しながら栄和地区を歩きました。

参加者からは前半・後半を通して、説明内容への質問や当該地域に暮らす視点からのコメント、実際に地域防災に取り組む立場からの問題点の提起などがあり、活発な議論・意見交換が行われました。

アンケートでは、「桜区全体で同様の講義があると良い」「単に起伏と思っていたが理由があることがわかりやすかった」「一般の人も参加したほうが良い」「また開催をお願いします」などと全体的に好評な感想を頂きました。

